山弓通
2-3
#2011

強い!! 甲州軍団"夏の陣"の戦果

「成女三部」「少女」が代表権獲得
＝三国体で山梨ガンバル

8月26日東京武道館で行われた(第16回全国中学生弓道)山梨チーム大健闘。成年女子部と少年女子の種別が関東の厚い壁をみごとに突破して、本大会出場権を獲得した。期待の大きかった少年男子は近的を一位で通過しながら、周囲の遠的の失敗で惜しくも総合三位と第代表権を逃したが、しかし成男と合わせて三種別が本大会出場ということになり、ひとり国体に於ける山梨勢の総合上位入賞が十分期待できそう。当日の競技成績は次の通り。

	近的	遠的	総合
	第中	個人	順位
少男	19	1	3
少女	15	4	6
成女一	12	8	10
成女二	10	4	14
		1	7
		2	8
	東京	東京	東京
	山梨	埼玉	山梨

東京出身 茨城 埼玉 東京 山梨

※栃木・群馬・神奈川は代表ゼロ

北富士堂々の三位
インターハイで気を吐く

8月1・3日、仙台市で開催されたインターハイ(全国高等学校弓道大会)は、山梨から北富士(男)と巨摩高(女)が出場し、両校とも予選を通過して決勝トーナメントに進出した。トーナメント戦でも、甲州健児のカンバリを見せ、北富士は準決勝まで進んで、みごとに第三位を獲得し、巨摩も準々決勝まで勝ち上って気を吐いた。戦績次の通り。

	男子	女子
予選	北富11(通過)	巨摩12(通過)
一回戦	北富(15)−13出水工	巨摩(13)−12佐賀西
二回戦	北富(16)−13金沢工	巨摩(12)−11妹津
準々決勝	北富(16)−10新潟工	巨摩9−1(5)武蔵東
準決勝	北富15−(15)2/3名古屋	

この成績は、男子は全国ベスト4、女子はベスト8ということになる。アッパレ若武者。

県体育祭

・市・村の部(山梨市体育館)で
・町の部(県営体育館)で
9月23日に併行して開催。成績は次の通り。

村		町		市	
女	男	女	男	女	男
明野9	武川11	玉穂10	上野原17	甲府9	甲府22
	境川9	御坂10	三珠15	塩山9	富士吉田21
	八田8	勝沼10	石和14	山梨9	大月18

個人	村 女	村 男	町 女	町 男	市 女	市 男
一位	坂本洋子(明野)4	中込明(武川)6	小原麗(玉穂)5	鈴木雅史(御坂)5	今井由子(塩山)4	樋沢島(甲府)7
二位	土橋智美(明野)3	浅野光男(武川)5	金丸修(勝沼)4	土橋智美(石和)4	中込実(塩山)7	白須吉人(富士吉田)6
三位		清水豊大(八田)4	信田寿子(石和)7	信田寿子(石和)7	飯島宗靖(三珠)4	鈴木敏夫(大月)6

全国中学選手権大会でも
・山梨勢の健斗光る・

9月22日(男)23・24日(土)全日本弓道選手権大会が伊勢市で開かれ、全国各地連の代表になって実力日本一を競った。わが山梨からは、上条欽、荻山照美、標衣校の三選手が出場した。この大会は、まず予選で、射型・体配・的中率の総合採点で上位20名を選び出し、その上で決勝では10射の的中を競い合うという厳しい試合方法で行われるのだが、今年は山梨勢大健斗し、男子の部で上条選手が、女子の部で標選手がいずれも予選を通過して20傑に入り、決勝でも、みごとな日本一を競った。

二人とも射型・体配・的中率の三拍子揃った実力の持主で、「あと一本」で上位入賞に届くというところまで、がんばった。この健斗に拍手を!!

(詳細は弓道誌11月号参照)

称号者講習

二度にわたって新たに創設されたこの講習会は、10月6・7日の両日にわたって、竹本良夫教士八段を講師に迎えて開催された。初日は各自一手の持的射礼、二日目は、一ッ的射礼、失の処理、立射礼、射技指導……と休む間もない濃密な講習であった。二日間の熱心な講師の指導により、高段者として必要不可欠の数々のわざを習得できて、参加者それぞれきわめて満足げな顔で散会した。

但し、今回、一ッ大きな問題があった。それは、中ーミシ手続きの不徹底。まず、正規の中ーミシ期日までの中ーミシは四名。どうなるかと思っていたが、開催前日までに十四名となる。そして、当日朝になって、更に十一名加えて、計二十五名となる。おかげで前日に作成した名簿は役に立たず、開会を遅らせてあわただしく作り直さざるを得ず、指導部事務局はアタフタ。バタバタ。(名法がないと講師の先生が指導しにくいのです。)

この二は実は今回だけのことではなく、数の多少はあれ、毎回のことです。(指導部からのお願い)今後の講習会には、是非、事前に確実に参加申しミシをして下さい。是非々々!!

おめでとうございます

体育功労表彰
望月喜造氏

この度の県体育祭で右の表彰を受けました。氏は永年にわたり弓道に精進すると共に、山弓連理事・競技部副部長・西代支部長を歴任して山弓連の発展に尽力されました。また、山梨連合会の谷大会優勝・準優勝の好成績を重ね、山梨弓道のレベルアップにも功績があります。

優秀選手表彰
はまなす国体少年女子チーム

やはり今年の県体育祭で表彰されました。去年の国体で近的三位、遠的四位、総合三位というすばらしい成績をあげ、山梨弓道の名声を高めました。

訃報

宮沢喜七氏(甲府)

8月6日死去、60才。国体出場三回。前甲府支部長。入賞など数々の大会で活躍した。8年一段、同年錬士。死去後大段追授。ご冥福をお祈り申し上げます。

菊地慶孝氏(宮城)

全日本弓道連盟副会長
8月10日死去、91才
東京医専在学中より学生弓道で活躍。第11回全日本医学校大会優勝。S59年より日弓連副会長となり、次期会長と目されていたが8月急逝。十段を追授。謹んでご冥福を祈り上げます。

中学生もガンバッテル
(山林塚治氏からの手紙)

七月二十七日、日本武道館で行われた全日本少年弓道錬成大会に、こしも梅町弓道スポ少が、AB二チーム、チャレンジ一チーム参加しました。

Bチームは予選で同中競射となり残念ながら敗退。Aチームは12射9中と、二位で通過。決勝戦でもがんばって12射9中という好成績だったのですが、上位三チームが9中ぞろいという接戦となりました。その結果「競射なしで、審査員による体配・射技の採点で順位を決める」という大会規定により、三位になってしまいました。残念でしたが、わがチームの三人のうち、二人が、かなりの早気だったので、止むを得ない裁定だったと思います。上位チームは、さすがに、会をじっくり保ち、残身を見ても、正しい理に叶った弓を引いていることがわかり感心しました。中学生の弓道指導に、また一つ課題がうえたと考えながら帰ってきました。(以下略)

(ご苦労さまでした。頑張ってください。ここまでやれればリッパです。)

=応援席からの声=

事務局から

○おたたれた紙面スペースの関係上、「屋史を作った人々」の連載を休むことになりました。スミマセン。

○故光寺先生の本葬を祝う射会が12月2日に開催されます。有志の方、ぜひ、ご参加下さい。詳細は支部長さんにお聞き下さい。

○会報「弓道」の毎号の表紙が若干ずつあります。必要の方は申し出て下さい。

○寒くなります。身体に気をつけてご精進下さい。